

# かみくげ 恐竜の里新聞

令和5年6月20日 発行：上久下恐竜の里づくり部会

第147号  
上久下地域  
自治協議会  
0795-78-0001

## 令和5年度自治協議会 総会を開催

上久下地域自治協議会（野垣克己会長）は、4月23日に地域づくりセンターで令和5年度の総会を開催しました。自治会や各団体代表者ら協議会委員24名が参加。令和4年度の事業報告と会計報告、5年度事業計画案及び予算案について提案し、議案通り可決しました。また自治協議会役員の変更についても議案通り可決しました。

### ◆4年度事業報告（抜粋）

☆コロナ禍によって3年間の活動自粛を強いられてきたが、3密を避けながら工夫して地域の活性化に取り組んできた。

☆山南地域が過疎指定を受けたことを機会に上久下の持続的発展計画を作り上げ、行政に訴えてきたが具体的な返答には至っていない。

☆上久下村営水力発電所落成100周年を記念して、祝賀式典を開催した。

☆三地域合同の山南中学校校記念事業を盛大に開催することができ、多くの人たちが校舎に別れを告げた。統合中学校は今春開校した。

☆檜皮葺ワークショップを8回実施。延べ180人の参加があり、檜皮葺のPRができた。

☆地元主催の化石試掘調査や、6年生卒業記念の丹波竜ペイント、丹波竜フェスタへの参加などで恐竜化石産地のPR活動ができた。

☆かみくげ宿が主催する「一発花火」に協賛して、地域の活性化ができた。

☆バナソニックエコリレージャパンとの協働クリーン作業を4年振りに開催して、環境整備に取り組んだ。



活動報告はパワーポイントを使用

### ◆5年度事業計画（抜粋）

☆上久下の過疎対策を、市長面談や議員懇談会を通じて行政に取り上げてもらおう活動を継続する。

☆自治意識の高揚に関する取組みとして、3年越しになる檜皮葺ワークショップの開催と、東屋完成式典を実施する。かみくげ宿の一発花火打ち上げを支援する。

☆教育に関することでは、大空学級の開催支援や学校運営協議会への参加、地区文化祭の開催など。

☆恐竜の里づくりに関する取組みは、地元主催の化石試掘調査の継続や、久しぶりの納涼ビアガーデン開催など。

☆健康・福祉に関することでは、川代さくらまつりや球技大会、体育大会の開催。ボランティア

ループの友愛弁当を活用した独居高齢者見守り活動への支援など。

☆環境に関する取組みでは、バナソニックエコリレージャパンとの協働クリーン作業の実施や地域づくりセンターの定期的な清掃・草刈り剪定作業など。

以上のように、コロナ前の活動に戻って地域の活性化に努めていきたいと思っています。

## 元気村かみくげ総会 開催

企業組合元気村かみくげは、第13期の総会を5月28日に地域づくりセンターで開催しました。村上正昭代表理事の挨拶の後、野垣克己氏が議長となり、第12期の事業報告と決算報告を可決承認。第13期の事業計画案並びに収支予算案も可決承認されました。

### ◆第12期の事業並びに決算報告（抜粋）

☆今年度は緊急事態宣言による休業もなく、化石発掘体験や食堂の価格改訂も貢献して大幅な収益増となった。

☆地域貢献として、小学校の卒業生に記念品を贈呈し、黒豆栽培を通して食育活動を実施した。

☆元気村かみくげ周辺から発電所までの定期的な草刈りなど、環境美化に努めた。

☆建物2棟の看板の更新や、食堂の排水管改修などを実施した。



村上正昭代表理事の挨拶

☆新しくユニフォームを作成して、来訪者から判別しやすいようにした。

◆第13期の事業計画案（抜粋）  
☆従事者一丸となって、前期並みの実績を目指す。

☆来場者が快適に過ごせるように、定期的な環境整備に努める。

☆野菜売り場の改善や、お土産コーナーの改善など可能なところから実施していく。

☆元気村が発展継続していくためには、組合員や地域の皆さんの支援が欠かせません。是非ともご協力をお願い致します。

## 檜皮葺ワークショップ ついに最終回

上久下地域自治協議会が主催し、技術者有志グループが協力して行う「檜皮葺ワークショップ」の第7弾が、丹波竜の里公園を会場にして6月3日と4日に開催されました。2日間で16人の参加があり、2枚の屋根はほぼ葺き終わりました。3年間・14回実施してきたワークショップもこれで終了となりました。後は職人さんの手で水切りの施工や、柱の仕上げ、ベンチ取付けなどを行ってまいります。これまでに参加頂いた方々に招待状を送り、10月中旬頃に盛大な東屋完成式典を開催する計画です。



ほぼ完成した檜皮葺の屋根

### 小規模多機能型居宅介護施設 「山南古代の里」 開設十周年を迎えて

丹波柏原福祉会 理事長 上山 一雄



山南町下滝の地も桜花から緑一葉に装いをかえ一段と活気を取り戻すこの期、思い浮かべますと上久下地域からこの地に小規模多機能施設の設置要望が丹波市に提出され、市の担当課長様から指名を受けて上久下の由緒ある旧村役場の地に建築してから走馬灯のごとく、早くも約十年余の歳月が流れました。

施設の建築当初は白塀の景観から何かの資料館とか美術館とかで地域のかた方や車窓での目に映った様でありました。

ときあたかも恐竜（タンバティタニス・アミキティエ）の化石が発掘され全国的な恐竜ブームを巻き起こし、これにあやかっって施設の名称を『山南古代の里』と名付けさせてもらい、地域の皆様方にも開設を祝していただき施設のご内見をいただきました。

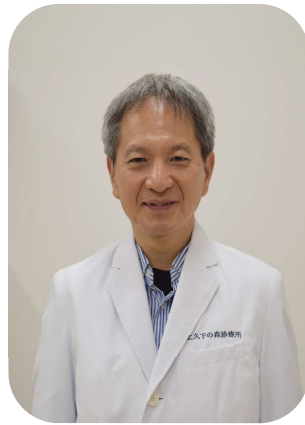
今顧みますと、開設当初は少しでも早く地域に貢献できるようにと施設運営を軌道に乗せることに傾注していたこともあり、地域との交流の機会の提供が十分ではなかったと感じております。しかしながら、施設の運営推進会議委員を務めていただいた自治協議会役員、地元自治会役員や民生委員等のお力添えもあり、近年は地域の方々から多くのご相談やご利用をいただ

けるようになりました。十年が経過し、ようやく地域に根差した施設として認知していただけたのではないかと感じております。

今後、更に高齢化が進む中、社会環境の変化に対応し地域で愛される施設となるよう一層邁進する所存ですが、そのために今、地域の皆様と一体となってこの素晴らしい「上久下」を考えていかなければならない時ではないかと考えております。

### 上久下の森診療所 開院十周年を迎えて

院長 安井 一夫



お陰様で上久下の森診療所は十歳を迎えました。人間であれば十歳はまだまだ子供です。私自身はこの間に還暦を越えたのですが、還暦を0歳とする数え方もあります。私はその数え方を採用し、四〇五歳の限らない可能性に満ちた年齢に戻りました。十歳の将来を想像するには余りにも若すぎる診療所の中で、四〇五歳の私が職員や患者様と共に育ち、成長していく所存でございます。

私は医師としては珍しく、救急、内科、東洋医学、精神科と広く経験した医師人生で、またその都度、その領域の達人と言われる優れた指導医にも恵まれました。開業当初はその経験を生かした、総合的な医療を集大成として実践することを第一に考えておりました。しかし還暦を迎える頃、先の計算では0歳に

戻った頃不思議な経験が続きました。それは、現代医学では治療困難な痛みを持つ患者様に、その時のひらめきで行った現代医学では効果が説明できない施術が奏功することが続いたことです。現代医学的な説明は無理でも、誰もが持つ見えない大自然の力、素粒子レベルの働きと考えると、私自身はこの療法の可能性に確信を持ちました。大自然の力を活かせるようこの地で開業したのでから、この流れに逆らわずに進もうと思えます。

世の中は、コロナ感染症は収束と考えてよい状態と思いますが、今後は経済問題と連動した食糧問題や、様々な世界の闇が徐々に明らかになり、大激動を繰り返しながら、不必要なもの淘汰され、今までの価値観、社会システムは大変容すると思われれます。科学も医療も大自然を破壊する流れから、活かす流れに変化して行くことと思えます。

当診療所は、大自然の力、我々の持つ自然治癒力をより活かす療法の提供を目指して模索、精進中です。これからも何卒よろしくお願い申し上げます。

### お知らせ

**3年間中断していました納涼ビアガーデンを、今年は2回開催する予定です。**

・日時:7月15日(土)と22日(土)  
19時スタート

・場所:上久下地域づくりセンター  
東側広場(雨天時は多目的室)  
たくさんの方々のご来場をお待ちしています。

### 7月の予定

- ◆7月2日(日) 地域づくりセンター草刈り  
・剪定 午前8時
- ◆7月14日(金) 恐竜の里づくり部会  
午後7時30分
- ◆7月15日(土) 地域づくりセンター清掃  
(上滝) 午前9時
- ◆7月15日(土) 第一回納涼ビアガーデン  
午後7時
- ◆7月20日(木) 自治会長会  
午後7時30分
- ◆7月22日(土) 第二回納涼ビアガーデン  
午後7時
- ◆7月11日(火)・25日(火)  
恐竜時計台のカフェ 午前10時

### 名所案内看板を 下滝駅に設置

丹波市JR福知山線複線化推進協議会山南地域部会が、昨年の谷川駅前に続いて下滝駅前にも名所案内看板を設置しました。電車で訪れた人たちに分かり易い道標となっています。



県道側は地図になっています